

事業スケジュールをお知らせします



ワークショップは全6回。アイデア出しから始めて、必要な機能を考え、ゾーニング（レイアウト）、平面図まで、皆さんと決めていきます。

ワークショップ年間スケジュール

第1回	南部近隣センターの未来を考える！ アンケート結果から現状把握、付加したい機能の抽出	10/21
類似施設見学会 11/19		
第2回	新しい近隣センターの「売り」を考えよう！ 「売り」は何か？それによるメリットは何か？	12/2
第3回	使うのが楽しくなるゾーニングを考えよう！ 部屋の機能やつながりを模型で確認しながら議論	1/28
第4回	少し見えてきた！新しい南部近隣センター 必みんなで作ったゾーニング図を発表します	2/24
第5回	デザインや材料も決めよう 模型によりデザイン、材料、色彩のパリエーションを検討	3/25
第6回	できました！新しい南部近隣センター！ コンセプト、階数、部屋面積、部屋のつながり等々を決定	平成30年6月頃
報告会 平成30年7月頃		

工事に伴う 閉館のお知らせ

改修工事期間中は、近隣センターは閉館します。

閉館期間は、平成31年1月から32年3月末（15か月間）を予定しています。

閉館期間中の出張所、図書館分館、南部みんなの広場は、現在、対応策を検討中です。決まり次第、お知らせします。

閉館期間にご不便をおかけしますが、よろしくご協力をお願いいたします。

南部近隣センター
リノベーション事業
特設サイト 開設！



<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/053000/p043375.html>



■ 次回（第2回ワークショップ）の案内

12月2日(土)は「新しい近隣センターの『売り』を考えよう！」をテーマに第2回のリノベーションワークショップを開催します。

□ お知らせします！

ワークショップの様子や施設改修の進捗状況をいち早くお知らせします。参加者の声やアンケートの結果、さらに平面図や建築模型なども、紙面でご紹介する予定です！

□ お寄せ下さい！

是非地域のみなさまのご意見をお寄せください。ご意見等は随時ご意見箱（近隣センター内に設置）やメール（ニュースのタイトル下を参照）でも受け付け、ワークショップ時の検討材料として活用させていただきます。

南部近隣センター リノベニュース

発行：柏市役所地域支援課 問合せ：04-7167-1126 Fax 04-7167-8103 mail: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp

リノベ・ワークショップが、始まった！



10月21日（土）13時から南部近隣センター2階会議室において、第1回のワークショップが開催されました。参加者は、動物の名前のついた5つのチームに分かれ、5つのステップを踏んで、熱心で充実した話し合いが持たれました。早くも次回のワークショップが楽しみです！

さまざまな意見が飛び交いました



ステップ1から5の流れで意見交換。発表もしました！

第1回

WSの流れ



ステップ1

あいさつ

ステップ2

事業スケジュールとワークショップの位置づけ

ステップ3

自己紹介
「私が参加した理由は…」

ステップ4

南部近隣センターの今までとこれからを語る

ステップ5

全体発表と質疑応答

第2回WS
12/2



ファシリテーター

岡山理科大学
平山文則 教授

■ステップ1～あいさつ



柏市役所 鬼沢徹雄副市長のご挨拶でスタート。
副市長「みなさんの意見交換でいい近隣センターをつくってください！」という力強いメッセージを頂きました。メンバー57名中、初日の参加は51名。5班に分かれてスタートです。

■ステップ2～事業の説明

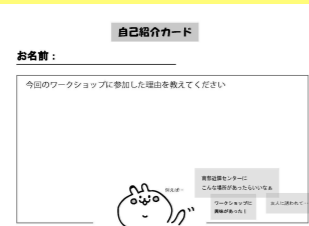
リノベーションの目的、範囲、スケジュールなどについて、事務局から説明がありました。(主なもの)
○これからの近隣センターのニーズを皆さんと話し合い、その内容が反映された新しい間取り(平面図)を作成します。
○ハードの改修では、バリアフリー(エレベーター設置)、耐震補強、外装塗装、電気空調設備改修などを行います。
○今後30年間使用できるよう、長寿命化を図ります。



(事業スケジュールは4面に記載しました)

■ステップ3～自己紹介

ここからいよいよワークショップ開始。参加者が自己紹介カードを使って、「ワークショップに参加した理由」を互いに紹介し合いました。



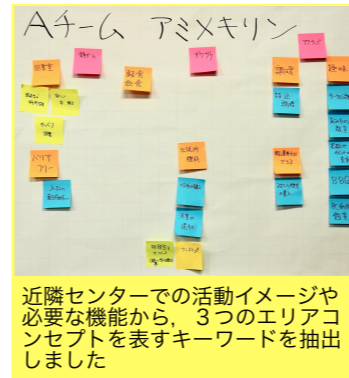
■ステップ4～アンケート分析

事務局から8月から9月にかけて行った「市民アンケート」「利用者アンケート」の結果を平山先生が分析し、みなさんに発表しました。(主なもの)
○利用者アンケートでは、利用目的の半数以上が「出張所」「図書館」となっている。
○利用者アンケートでは「気軽に利用できない」「目的に合った施設なし」が合わせて19%である一方、「不便を感じない」も10%あった。

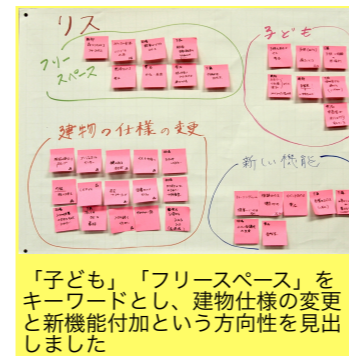
○「市民アンケート」では、「利用あり」87%、「利用なし」13%であった。「利用なし」の理由は、「アクセス不便」23%、「利用の仕方わからない」16%、「利用したい施設なし」17%であった。(アンケート結果並びにワークショップの資料は、柏市ホームページで公開しています)

■ステップ5～意見交換と発表

ここからが本番。「なりきり意見記入シート」を使ってどんな機能がほしいかを出していきます。自分だけでなく「もし○○だったら」と誰かをイメージして考えました。シートに書いた意見は、グループ内で発表し、模造紙にまとめて全体発表しました。



近隣センターでの活動イメージや必要な機能から、3つのエリアコンセプトを表すキーワードを抽出しました



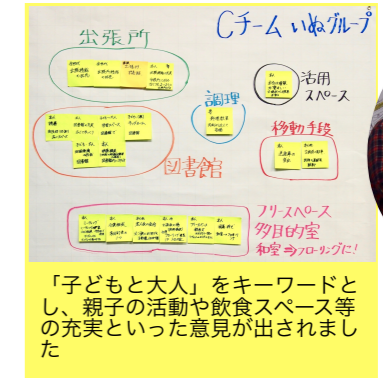
「子ども」「フリースペース」をキーワードとし、建物仕様の変更と新機能付加という方向性を見出しました



主として既存施設に対する期待や要望を具体化することから、有効活用のための方向性を見出しました



各模造紙の詳細は、柏市ホームページでご覧いただけます。



「子どもと大人」をキーワードとし、親子の活動や飲食スペース等の充実といった意見が出されました



既存施設の平面図に当てはめる形で要望の抽出を行い、併せて今後の夢についても意見出しを行いました



こんな意見がありました！



会議室を、もっと！

- ・コンパクトで使いやすい会議室
- ・会議室を大きくしてほしい(150人規模)
- ・多目的スペース
- ・フリースペース
- ・打合せスペース
- ・ふる協事務室・倉庫
- ・お茶会の場
- ・囲碁・将棋ができるスペース
- ・音楽室
- ・全面鏡張りの部屋
- ・パソコンが利用可能な個室
- ・小さい子どもが利用できる和室
- ・ギャラリー

出張所機能を、もっと！

- ・申請・手続き関係の強化簡素化
- ・本庁舎へ行かなくて良いようにしてほしい
- ・ワンストップ化してほしい
- ・相談窓口がほしい

飲食スペースほしいな！

- ・飲食可能なフリースペース
- ・バーベキューが出来る空間
- ・図書館にカフェがほしい
- ・料理実習室の充実(料理教室の実施、震災時対応、祭り・文化祭対応等)
- ・蕎麦打ちがしたい
- ・子ども食堂を開設したい
- ・喫茶店・売店の設置や、軽食の自販機

図書館を、もっと！

- ・絵本など特別な本
- ・新刊・雑誌の充実
- ・参考文献の強化
- ・ひとりかけソファなどゆっくり読書できるスペース
- ・雑誌閲覧コーナー
- ・自習室
- ・キッズルーム
- ・高齢者が座れるスペース
- ・高速WiFi
- ・ネットワークプリンタ
- ・映像編集機能

こんなことも、もっと！

- ・避難所機能の充実
- ・バリアフリー化
- ・花の手入れ用具の置き場所
- ・柏からノーベル賞受賞者を

「感想カード」から

- ・『近隣センター』と『公園』の連携をうまくしてもらいたい
- ・夢は広がるが、リノベーションということで一定の制限があるということを新たに認識させられた
- ・近隣市の図書館を含めて、役割のすみ分けを検討すべき。小さな図書館に色々求めるべきではない
- ・自分のできたらいいだけを考えていたが、皆さんの話を聞いてそれだけではダメだと分かった
- ・司会平山先生のソフトな感じは好感。色んな立場の意見を傍聴して有意義だった
- ・ワークショップ形式は意見を言いやすくてとてもよい